

優秀賞

王子保小学校4年

藤木志遠さん

●研究テーマ

コウノトリは越前市王子保地区森久町に定住できるのか？

動機

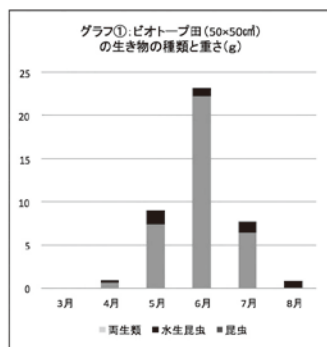
森久町にはサギ類はいるのに、どうして、コウノトリは定住しないのだろう？ ぼくは、えさがないからかもしれないと思った。そこで、森久町にコウノトリが定住できるほどのえさが十分にあるか調べようと思った。

内容

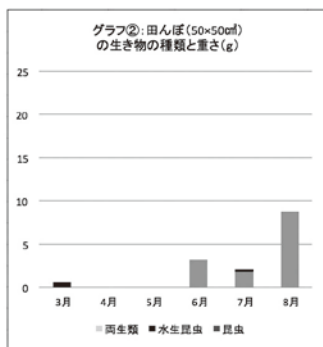
休耕田に水を張り、ビオトープ田を作る。ビオトープ田と田んぼの2カ所で、50×50cm²にいるエサとなる生き物を捕かくし、重さを量る。

・ビオトープ田では、生き物の総重量が田んぼよりも大きく、種類も多い。特に5～7月の両生類の量が多い。※グラフ①参照

・田んぼでは、3月と6月の水張りの時期に生き物の種類が増える。4月の田起こし、5月の田植えで、機械が入る時期と、7～8月の中干しで、水がなくなる時期は、生き物の量も種類も少なくなる。※グラフ②参照



グラフ①



グラフ②

今回の調査で、田んぼ周辺では、両生類のわりあいが多く、それらの生き物がふえるために、機械が入らないことや水がつねにあるかんきょうが大事であることが分かった。

まとめや感想

自然がゆたかでエサとなる生き物がたくさんいる森久町に、コウノトリは定住できると思う。たくさんの人に協力してもらって、ビオトープのせいびや生き物にやさしい農業に取り組んでほしい。